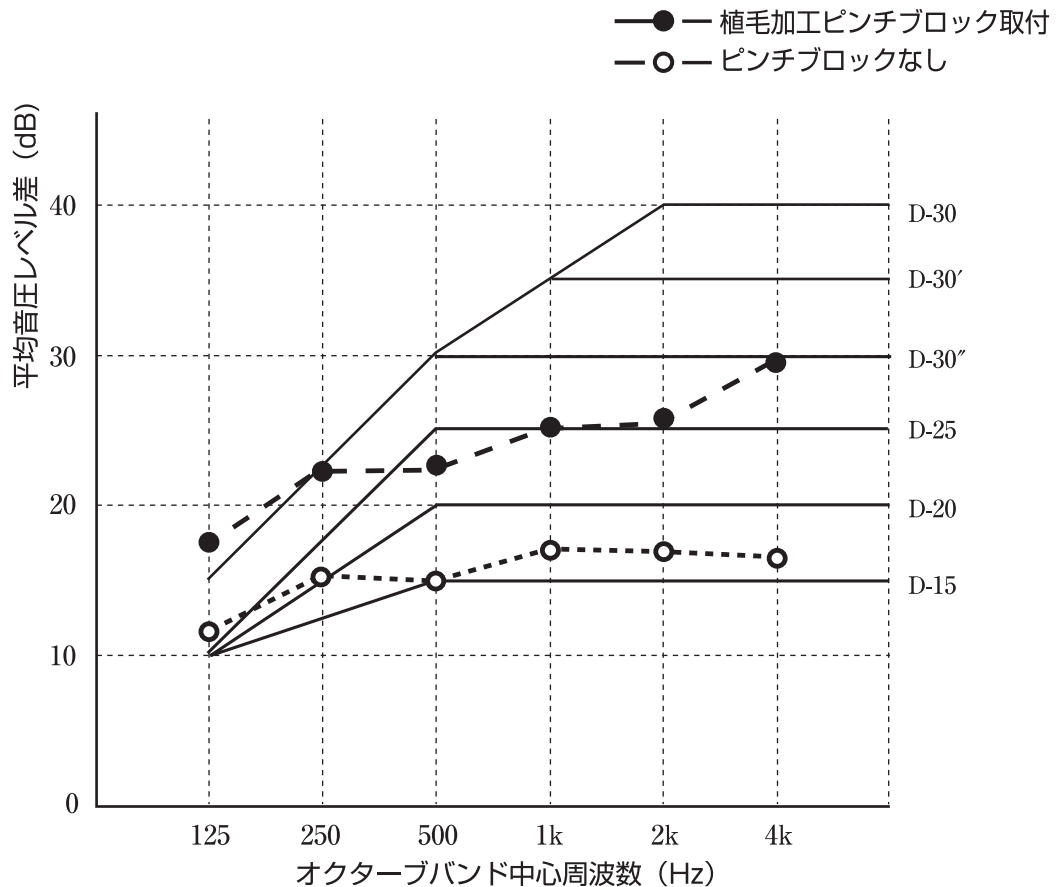


木製開き戸に植毛加工ピンチブロックを取付けた場合と、取付けない場合の比較測定表



測定方法：洋室 8 帖に音源をおき、音源室内 5 点の音圧レベルの平均値とドア前 1m の音圧レベルの差をオクターブバンド毎に評価した。

- ① は開き戸（フラッシュドア）の全周に植毛加工ピンチブロック（3方枠は#7-T、下框は#38-P）を取付けて、扉を閉めた場合の遮音性能測定値をグラフで示したものです。
- ② は開き戸の全周に遮音材を取付けないで、扉を閉めた場合の遮音性能測定値をグラフで示したものです。（開き戸と床面の隙間は約10mm）

測定場所：つくば市N邸（実家屋）
 立会人：(社)日本騒音制御工学会 設計技士 大島 敏氏